

	課題分析	授業改善策
国語	・基礎的・基本的な知識や読解力を養う。 ・自分の考えを文章化し、他者へ分かりやすく伝える力を養う。 ・他者と意見交流を積極的に行い、多様な考えに触れ、多角的に物事を見られるようにする。	・ワークを活用して漢字や文法などの基礎知識の定着を図る。 ・問いに対して自分の考えをもつ時間を設ける。 ・授業の中でペアワーク・グループ活動をする時間を設け、ICTなども活用しながら考えを再構築する時間を設ける。
社会	・授業で学んだ知識と日常生活を関連付けて思考する力を育成する。 ・自ら学習を振り返り、単元の問いに対して学習を調整する力を育成する。	・時事ニュースを授業で扱い、日常生活と関連付けて授業を行う。 ・学習を振り返る時間を設けることや小テストを実施するなど、自身の学習状況を確認できるような学習活動を展開する。
数学	・「全国学力・学習状況調査」において、「数学の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して、否定的な回答をした生徒が14%近くいる。 ・「全国学力・学習状況調査」において、全国の平均正答率を10.7%上回ったが、数と式に関する問題の正答率が52.7%、図形に関する問題の正答率が54.3%と全国と比べて、8%ほどの上回りである。	・個々の理解力や定着具合に応じた授業を展開する。また、学力向上支援講師と連携し、生徒が質問しやすい状況を作る。 ・基礎基本の定着を目指す。また、文章問題などの発展的な問題や図形に関する証明などの記述や立式を苦手としている傾向があるため、同様の問題を繰り返し解かせていくことで、問題文を読み取る力を向上させる。
理科	・観察実験の結果と日常生活を結び付けて探究する力と、その結果を分析して解釈し、科学的に探究して自らの考えを表現する力を育成する。	・観察実験の結果を身近な自然事象と関連させながら生活体験の不足を補い、結果の分析や原理、法則の探究の過程を通して、思考力・判断力・表現力を育成する学習活動を充実させる。
音楽	・基礎的・基本的な内容や表現の技術を定着させる。 ・音楽用語、読譜力の定着を図る。 ・曲の内容の分析をする姿勢を身に付けられるように自ら考え、学習していく力を付けさせる。 ・器楽の基本的奏法を身に付けさせ、発展へとつなげる。	・発声法や構え方など基礎的知識を定着させるために、ICTの利用やペアワーク・グループ活動を充実する。 ・知識の定着については、学習ツールを利用しながら繰り返し学習を重ね、定着させる。 ・器楽においては、一人一人の技術や進み具合を把握し、個々に合った進捗で、ペアワーク・グループ活動を取り入れながら課題を進めていく。また、適宜ICTを利用していく。
美術	・主体的に学習に取り組む態度・姿勢をもっている生徒が多いが、発想の広がりや難しい面がある。 ・基礎的・基本的な内容や表現の技術を定着させ、作品に対しては個性を表現するよう促す。	・発想の助けになるよう ICT の活用や教師からの個別アドバイスなどをする。 ・制作を通して発想や表現の楽しさ、完成の喜びを味わえるように工夫する。
保健体育	・知識を伴う技能の習得に向け、実践的な活動からゲーム等に生かせる技能の習得を図る。 ・作戦や戦術などを分析するとともに、自己の活動にどのように生かせるかを考え、それを表現できるようにする。 ・基礎体力を向上させる。	・ICTを活用し、ゲームや競技に必要な技能の習得のために何が必要なのかを具体化させる。 ・実践的な学びの場面を多く取り入れ、その中に課題を設定し、各段階で必要な力を自分の言葉で表現できるよう、学習カードを作成・活用する。 ・1単位時間での活動時間を十分に確保する。
技術・家庭	・多くの生徒は主体的に学習に取り組む態度・姿勢をもっているが、実体験不足から技能や思考・判断・表現に関する力が不十分であると考ええる。 ・基礎的、基本的な内容を習得させ、さらに発展させるために、生活に生かす力を身に付けさせる題材や指導方法を工夫する。	・生活に生かせる力を身に付けるために、日常生活と関連付け、より実践的・体験的な製作と実習を多く取り入れた授業を実施する。 ・製作を通して仕事の楽しさや完成の喜びを味わえるように工夫する。生活に必要な技能の定着を図る。
外国語（英語）	・基礎・基本の定着が不十分な生徒がいる。 ・場面や状況に合わせて、自分の意見を伝えたり、相手に尋ねたりする。	・毎授業で、授業の流れや目標を明確にして、他単元とのつながりを意識した授業展開を意識する。 ・授業内で言語活動を充実させ、英語を話すことへの抵抗を減らす。また、話すことを評価する活動を十分に確保し、生徒が目指すゴールを明確にする。